

すくすく249



編集・発行
札幌市立はまなす幼稚園
令和5年(2023年)11月

第3号

はまなす幼稚園は、“研究実践園”として、幼児のよりよい育ちのために研究・研修を積み重ね、その成果をお便りやHPなどを通して発信しております。

今回の「すくすく 249」では実際に行った訪問研修の様子や個別の支援計画等を立てる際に参考になる『サポートファイルさっぽろ』を御紹介いたします。御活用いただければ幸いです。

訪問研修の様子

11月に発寒保育園で訪問研修を行わせていただきました。研修のテーマは「遊びの展開・環境の構成～夢中になって遊ぶ、環境の構成を考えよう」です。研修の始めはパワーポイントをもとに、幼児教育の基本、「環境を通して行う保育」における保育者の役割などについてお話をしました。その後、本園の実際の保育の写真を交えて、道具や遊具の使い方、遊びの場作りなど、保育がより楽しくなる環境づくりや遊びの様子を紹介しました。

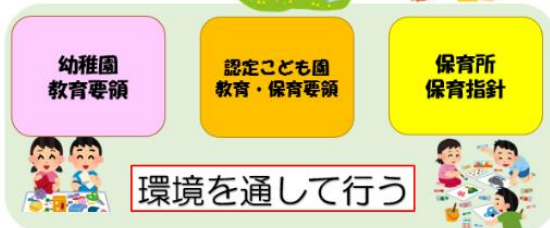
後半の時間は、発寒保育園のお子さんたちがやりたいこと、興味のあることからどのような環境を用意したらよいか、保育室やホールをどのように使うとよいかなどのアイディアを出し合っていました。「まずはやってみないとね!」と前向きなお言葉をいただき、とても嬉しく思いました。また、研修後は、「子どもの行動や思いの見取り方、興味・関心に応じた環境の構成を作っていくことの大切さを学んだ。」「お互いの見方を話し合う大切さを学んだ。」などの感想をいただきました。一人では

うまくいかないことも、皆で話し合いアイディアを出し合うことで、気づきが生まれたり発想が広がったりします。そのようなきっかけづくりに、ぜひ訪問研修を活用していただけたら幸いです。

研修資料より

1. 幼児教育・環境について

幼児教育の基本



申込方法

申込書を「札幌市教育委員会幼児教育センター」HPよりダウンロードし、FAXかメールに添付してお申し込みください。

申込用紙掲載ページURL:

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/youjikyoku/yousenn/kennkyuu2.html>





サポートファイル さっぽろの御紹介

各施設においてお子さんの成長を伝えるために工夫されていることと思います。口頭で伝えるメリットもあると思いますが、紙面も活用することで成長を振り返ったり、確認し合えたりすることもあると思います。そこでお勧めするのが、「サポートファイルさっぽろ」です。進学先でも使用されていくものです。小さい頃からの成長が1冊にまとめられる便利な物です。全てを始めに作らなければならないのではなく、必要な部分から作ることができます。

例えば・・・

- ① 現在のお子さんの様子を園と保護者で確認し合うことができます。
- ② 様々な項目から今年度の目標を立てお子さんの成長に必要な支援の方法を記載します。
- ③ 実際に手立てをしてみてどうだったかを振り返り成長を積み重ねていきます。

① 現在の様子（取組や本人の状況）－保育所・幼稚園等－
記入年月日： H○年 ○月 ○日 年齢： ○歳（○○組）
記入機関名： ○○幼稚園 記入者名： ○○

家庭・保育所・幼稚園等での様子	
習慣 基本 的な 生活	食事：スプーン、フォークを使って自分で食べようとします。上手く口に運べないとイライラして投げってしまうことがあります。手伝うとまた食べてくれます。 トイレ：時間を見てトイレに誘い、成功することが多いです。
シ コ ミ ユ ニ ケ ー	・2語文程度で話します。短く簡単な言葉で話すと、理解しやすいです。 ・欲しいものがあると、腕を引っ張り欲しいものがあるところに連れて行って要求することがあります。
遊 び の 様 子	・好きな電車で一人で遊ぶことが多いです。 ・少しずつルールが分かってきています。声をかけると一緒に遊ぶこともできます。 幼稚園のお友達と「追いかけてこした」と家で話すこともあります。
運 動	・歩くのが好きです。
興 味 ・ 関 心	・電車の名前をたくさん憶えています。 ・外で興味のある物（車や電車の絵など）を見つけると、走って行ってしまったため、手をつないでいます
そ の 他	

保育所や幼稚園での様子についても、できていること、得意なこと、気になることを保育所、幼稚園の担当の先生と一緒に整理してみましょう。
家庭での様子も書くことで、保育所や幼稚園にお子さんの状況を伝えやすくなります。

【サポートシート3】

②

サポートプラン

現在、通っている保育所、幼稚園、療育機関、学校などと一緒に、お子さんの育ちを支える計画を立てましょう。
既に通われている施設で、支援計画がある場合には、それを綴ることで代用できます。

作成日： H○年 ○月 ○日

作成機関名：

記入者名：

現在の様子

サポートシート2を参照

支援に生かすことのできる本児のよさ

- ・大人と1対1であれば、落ち着いて会話をすることができる。
- ・絵や図などの視覚的な手がかりがあると、活動に取り組むやすい。

本人や保護者の願い

本人 友達と仲良く遊びたい
保護者 楽しく学校へ通ってほしい
人への適切な関わり方を身に付けてほしい

長期目標

支援の手立て

目標達成の目的（小学校4年終了頃までに）

- ・友達に対して、気持ちをコントロールしながら落ち着いて関わるができる
- ・友達との関わり方について、本人が冷静な時に教師が1対1で具体的に教える
- ・視覚的な手がかりを活用しながら、望ましい関わり方について説明する

③

【サポートシート4】

短期目標

支援の手だて

目標達成の目的（小学校3年終了頃までに）

- ・遊びやゲームに負けても怒らない
- ・遊びやゲームの前に、負けた時の約束を確認する。
- ・望ましい行動を視覚的な手掛かりを活用しながら説明し、できた時は見逃さずに褒める。

成果と課題

- ・事前に約束を確認した時には、怒らないことが増えた。

この他にも関係機関の情報や（福祉、医療、保育、教育）や福祉サービス等（手帳の交付、デイサービスなど）の利用状況などを記載するページなどもあります。是非この機会に札幌に住んでいる子どもたちの育ちを繋ぐファイルとして活用してみませんか。